

YAMAHA ELECTONE®

# FE-50

.....  
FE-50M



取扱説明書

# このたびはヤマハエレクトーンをお買上げいただきましてありがとうございます。

エレクトーンFE-シリーズは、楽器づくりの経験ゆたかなヤマハが、時代の最先端をい「電子テクノロジー」を結集して完成させた最新型のエレクトーンです。特に、楽器としての完成度をより高めるため、独自のデジタル技術を導入し、これまでになく自然で生き生きとした楽音を実現しました。つねに、新しい音と表現力をめざすヤマハならではの豊かな響きです。さらに、楽器は初めてという方でも手軽に楽しめる数々の機能をとり入れていますので、ご家族全員でご愛用いただけます。

演奏にあたりましては、その多彩な機能を存分にお楽しみいただくため、あらかじめこの説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは大切に保管し、分らないことが生じたときにもう一度ご覧になってください。きつとお役に立ちます。

## 主な特長

### ●先進の音源システムによるナチュラルな音質。

FAMシステムというデジタル技術を楽音の音源に採用。アコースティック楽器にきわめて近い生き生きとした音色を実現しました。また、実際の打楽器音をデジタル録音したFWM方式により、リズム音がとてもリアルになっています。

### ●指先による音楽表現、タッチコントロール機能。

独自の電子回路と鍵盤メカニズムによって、鍵盤タッチによるサウンドコントロールを実現。上鍵盤を弾く力の強弱によってカスタムボイスの音量・音色が変化し、演奏に豊かな表情をもたせることができます。

### ●操作しやすいコントロールパネル。

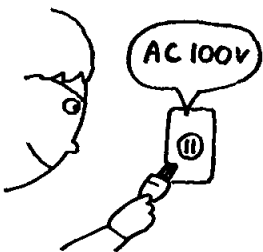
音色やリズムの選択は、すべてワンタッチの押しボタン方式。さらに、上・下鍵盤のサウンドが一度にセットできるゼネラルプリセットも備え、操作性は大幅に向上しています。

### ●多彩なお楽しみ機能を使えば、演奏も楽々。

指1本でも自動伴奏ができるオートベース/コードをはじめ、オートアルペジオやプレイアシストなどの演奏補助機能も充実し、どなたでも演奏がお楽しみいただけます。

## ご使用上の注意

### 必ず、AC100Vのコンセントから電源を。



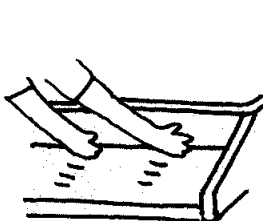
大型クーラーやセントラルヒーティングの電圧は、AC(交流)200Vのものがああります。誤って接続すると大変危険です。十分ご注意ください。また、船舶などでは、DC(直流)電源を使用している場合がありますので、よくお確かめください。

### 電源プラグの扱いに注意。



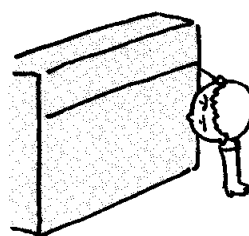
ぬれた手で電源プラグにふれると、感電するおそれがありますので、十分ご注意ください。また、コードの断線やショートを防ぐため、電源コードをコンセントから抜くときは、電源プラグ自体を持って抜いてください。

### スライドぶた、譜面板の取扱いについて。



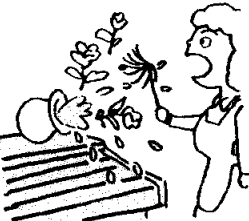
スライドぶたを開けるときは、手前を少し持ち上げ、手に持ったまま静かに押し込みます。指や物を巻き込まないように注意してください。また、スライドぶたの上には重い物を乗せないでください。譜面板を上げ下げするときも、しっかりと持ち、手をはさまないよう気をつけてください。

### エレクトーンの内部には、絶対ふれないで。



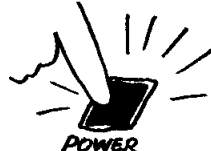
エレクトーンの改造や部品の取りはずしは、大変危険ですので、絶対におやめください。故障だと思われる場合は、お求めの販売店もしくは電音サービスセンター、サービスステーションまでご連絡ください。

### 内部に水が入った場合は。



誤って水などをかけ、エレクトーンの内部に入ってしまった場合は、ただちに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いた上で、お求めの販売店もしくは電音サービスセンター、サービスステーションまでご連絡ください。

### 電源スイッチを切り忘れないように。



電源が入ったまま長時間放置すると、思わぬ事故の原因になることがありますので、使用後は、必ず電源スイッチを切ってください。

和文シートをご使用の場合は、表面の保護フィルムをはかしてお使いください。



# 各部の名称

## FE-50

オートベース/コード  
(21ページ)

アッパーコンビネーション/オーケストラ  
(4ページ)

アッパーアンサンブルボイス  
(6ページ)

オートアルペジオ  
(25ページ)

アッパースペシャルプリセット  
(5ページ)

アッパー/ロワーカスタムボイス  
(7ページ)



トレモロスピード  
(12ページ)

トレモロ/シンフォニック  
(12ページ)

マニュアルバランス  
(15ページ)

ビブラート  
(13ページ)

オートリズム  
(16ページ)

アンサンブル (9ページ)      ロワーコンビネーション/オーケストラ (4ページ)      ロワーアンサンブルボイス (6ページ)      マスターボリューム (3ページ)

ゼネラルプリセット (10ページ)      ロワースペシャルプリセット (5, 20ページ)      ペダルカスタムボイス (11ページ)      電源スイッチ (3ページ)



プレイアシスト  
(26ページ)

ニーレバーセレクトター  
(14, 27ページ)

リバーブ  
(15ページ)

パイロットランプ  
(3ページ)

フットスイッチセレクトター  
(15, 19ページ)

サステイン  
(14ページ)

(FE-50Mのパネル面は、外装以外FE-50と同じです。)

# 1 演奏をはじめる前に

エレクトーンの各部のやくわり	2
まず音をだしてみよう	3

## 2 上鍵盤と下鍵盤の音色

コンビネーション/オーケストラ	4
スペシャルプリセット	5
アンサンブルボイス	6
カスタムボイス	7

## 3 音色を組み合わせてみましょう

アンサンブル	9
--------	---

## 4 ボタンひとつでサウンドをセット

ゼネラルプリセット	10
-----------	----

## 5 ペダル鍵盤の音色

ペダルカスタムボイス	11
------------	----

## 6 音に表情をつけて豊かな響きに(効果)

トレモロ/シンフォニック	12
ビブラート	13
サステイン	14
リバーブ・グライド・マニュアルバランス	15

## 7 リズムを加えてみましょう

オートリズム	16
オートバリエーション・ブレイクバリエーション	18
エキストラ・パーカッション・フットスイッチセクター	19

## 8 自動伴奏を楽しみましょう

リズムミックコード	20
オートベース/コード	21

## 9 アルペジオ(分散和音)伴奏も楽しめます

オートアルペジオ	25
----------	----

## 10 メロディーにハーモニーがつけられます

プレイアシスト	26
---------	----

● 付属端子と音楽を楽しむエチケット	28
● 末永く安全にお使いいただくために	29
● エレクトーン教室のご案内	30
● 仕様と音域表	31
● 故障とお考えになる前に	32
● サービスと保証について	34
● エレクトーン豆知識	36



## 1. 演奏をはじめる前に

## エレクトーンの各部のやくわり

音色をセットします。

上鍵盤と下鍵盤の音色を選びます。

ペダル鍵盤の音色を選びます。

(音色を組み  
合わせます。)(ボタンひとつで  
サウンドをセット。)

(おもにメロディーを弾く上鍵盤)

(おもに伴奏を弾く下鍵盤)

(ベース伴奏を弾く  
ペダル鍵盤)

自動伴奏ができます。

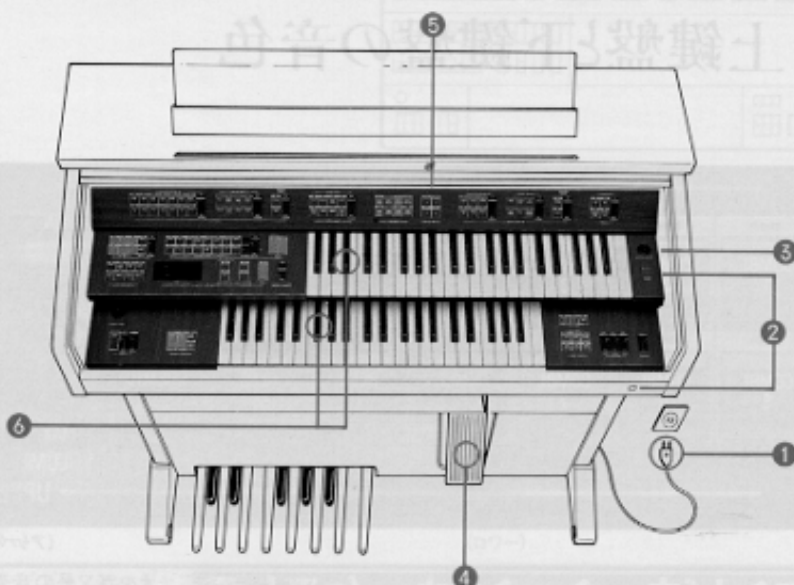
アルペジオ伴奏が加わります。リズムを加えます。ハーモニーをつけます。

メロディーに

楽しさをひろげます。

音に表情をつけて  
豊かな響きにします。

# まず音をだてみましょう



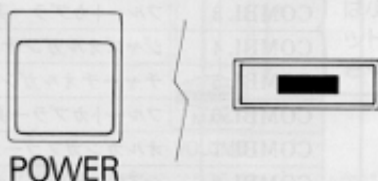
## 1 電源プラグをコンセントにさしこむ。



AC100Vであることを  
確認してください。

## 2 電源スイッチを入れる。

電源を入れると、パイロットランプ  
が点灯します。



POWER

## 3 マスターボリューム(総合音量)の つまみをセット。

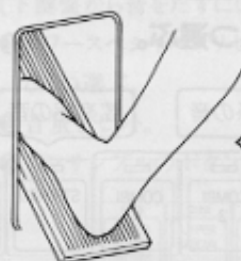


MASTER VOLUME

中央ぐらいに  
セット。

このつまみでエレクトーン全体の音量が調節でき  
ます。

## 4 エクスプレッションペダルを踏みこむ。



右足で操作。

これもエレクトーン全体の音量をコントロールず  
るもので、演奏しながら音に強弱をつけることが  
できます。

## 5 音色をセット。

ここでは、ボタンひとつで  
上・下鍵盤の音色がセット  
できるゼネラルプリセット  
を使ってみましょう。  
(くわしくは10ページを参照)

ひとつを選んで  
ON。



GENERAL PRESETS

もう1度同じボタンを  
おすとOFFになります。

## 6 鍵盤を弾いてみましょう。

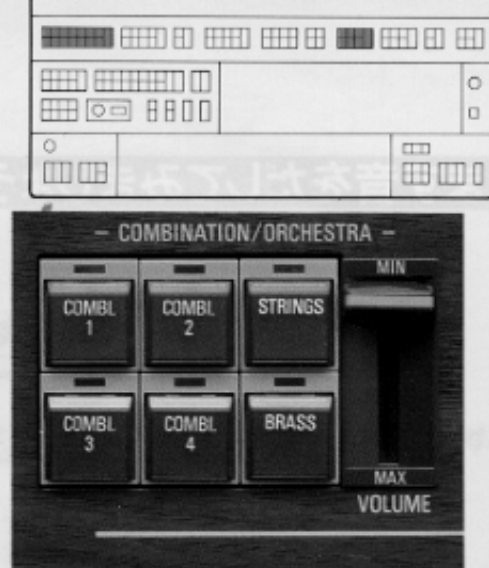


ペダル鍵盤は左足で演奏しますが、音色のセット  
方法は11ページを参照してください。

## 2. 上鍵盤と下鍵盤の音色



(アップパー)



(ロワー)

### コンビネーション/オーケストラ

オルガン系の音や弦楽器、金管楽器の音などが選べます。

まず、上鍵盤から音をだしてみましょう。(ゼネラルプリセットはOFFにしてください。)

#### 1 音色をひとつ選ぶ。



#### 2 音量をセット。



上にセットすると音量は小さくなり、下にセットするほど音量は大きくなります。

#### 3 アンサンブルのボタンを入れる。

もう1度同じボタンをおすとOFFになります。



—ENSEMBLE—

#### 4 上鍵盤を弾いてみましょう。

ほかの音色を選んで聴きくらべてください。

#### 次のステップへ進みましょう

(下鍵盤から音をだすには)

- ① ロワーコンビネーション/オーケストラのなかから音色をひとつ選ぶ。
- ② 音量をセット。
- ③ アンサンブルのボタンを入れる。



- ④ 下鍵盤を弾く。

(コンビネーションの音色)

(アップパー)

COMBI. 1	オルガン系サウンド
COMBI. 2	フルート系サウンド
COMBI. 3	フルートカブラー系サウンド1
COMBI. 4	ジャズオルガンサウンド
COMBI. 5	チャーチオルガンサウンド
COMBI. 6	フルートカブラー系サウンド2
COMBI. 7	オルガンカブラー系サウンド
COMBI. 8	シアターオルガンサウンド

(ロワー)

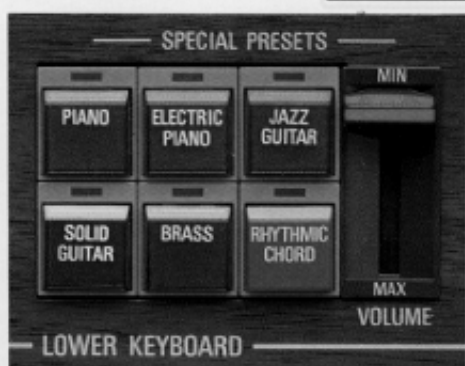
COMBI. 1	オルガン系サウンド
COMBI. 2	フルート系サウンド
COMBI. 3	オルガンカブラー系サウンド
COMBI. 4	ストリング系サウンド

- コンビネーション/オーケストラ音色は、鍵盤をおさえている間、音がてつづける持続音です。





(アッパー)



(ロワー)

## スペシャルプリセット

ピアノやビブラフォン、ジャズギターの音などが選べます。

まず、上鍵盤から音をだしてみましょう。

### 1 音色をひとつ選ぶ。



### 2 音量をセット。



上にセットすると音量は小さくなり、下にセットするほど音量は大きくなります。

### 3 アンサンブルのボタンを入れる。



—ENSEMBLE—

### 4 上鍵盤を弾いてみましょう。

ほかの音色を選んで聴きくらべてください。

## 次のステップへ進みましょう

[下鍵盤から音をだすには]

- ① ロワースペシャルプリセットのなかから音色をひとつ選ぶ。
- ② 音量をセット。
- ③ アンサンブルのボタンを入れる。

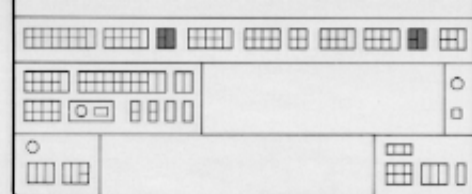


- ① 下鍵盤を弾く。

[リズムコード] (20ページを参照)

オートリズムを使っているとき、このボタンを入れると、ロワースペシャルプリセットの音色がリズムに連動して自動的にきざまれます。

- スペシャルプリセット音色のうち、マンドリンとバンジョーは音がくり返しててくる断続音、ブラスは持続音です。そのほかの音色は、鍵盤をおさえつけても音が徐々に消えていく減衰音です。



(アッパー)



(ローワ)

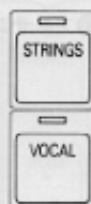
## アンサンブルボイス

バイオリン合奏の豊かな音や、人間のコーラスを思わせるひろがりのある音が選べます。

まず、上鍵盤から音をだしてみましょう。

### 1 音色をひとつ選ぶ。

バイオリン合奏の音



人間のコーラスをイメージさせる音

### 次のステップへ進みましょう

〔下鍵盤から音をだすには〕

- ① ロワーアンサンブルボイスのなかから音色をひとつ選ぶ。
- ② 音量をセット。
- ③ アンサンブルのボタンを入れる。



### 4 下鍵盤を弾く。

- アンサンブルボイスには、それぞれの音色にふさわしいように、シンフォニック、サステインなどの効果があらかじめ組みこまれています。
- アンサンブルボイス音色は、すべて持続音です。

### 2 音量をセット。



上にセットすると音量は小さくなり、下にセットするほど音量は大きくなります。

### 3 アンサンブルのボタンを入れる。

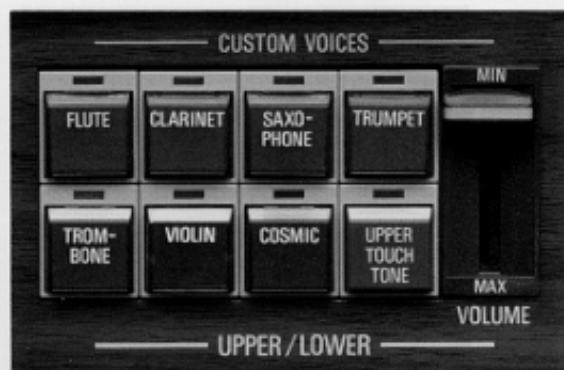


—ENSEMBLE—

### 4 上鍵盤を弾いてみましょう。

ほかの音色を選んで聴きくらべてください。

### 3. 音色を組み合わせてみましょう

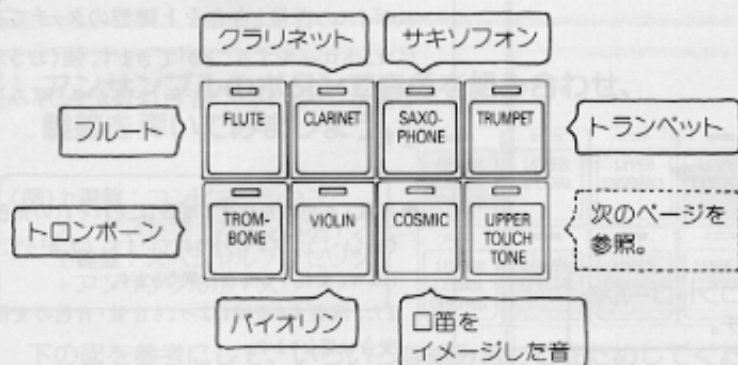


## カスタムボイス

フルート、サキソフォン、トロンボーンなどの音が単音で得られます。

まず、上鍵盤から音をだしてみましょう。

#### 1 音色をひとつ選ぶ。



#### 2 音量をセット。



上にセットすると音量は小さくなり、下にセットするほど音量は大きくなります。

#### 3 アンサンプルのボタンを入れる。



—ENSEMBLE—

#### 4 上鍵盤を弾いてみましょう。

ほかの音色を選んで聴きくらべてください。

#### 次のステップへ進みましょう

[下鍵盤から音をだすには]

- ① 音色をひとつ選ぶ。
- ② 音量をセット。
- ③ アンサンプルのボタンを入れる。



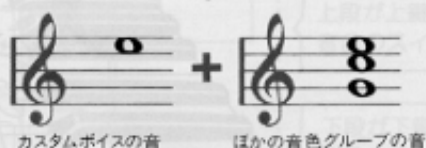
- ④ 下鍵盤を弾く。

● カスタムボイスは、同時に上鍵盤と下鍵盤の両方に呼び出すことはできません。

[カスタムボイスは単音です]

ほかの音色グループとちがいで、カスタムボイスでは鍵盤をいくつか同時に押さえると一番高い音だけがでてきます。

(例)



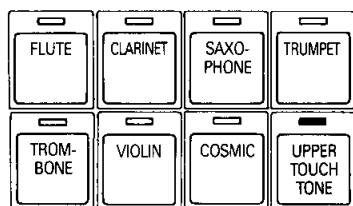
ほかの音色グループの音と組み合わせてブロック奏をすれば、最高音のメロディーラインだけにカスタムボイスの音が重なり、立体的なサウンドが楽しめます。

## カスタムボイス

鍵盤のタッチで音を変化させてみましょう。

### 5 アッパータッチトーンのボタンを入れる。

音色は  
ひとつ選ぶ。



タッチコントロールの  
スイッチ。

### 6 上鍵盤をおさえ、さらに強くおさえる。

強くおさえると音量が大きくなり、  
音色も豊かな感じになります。



ほかの音色を選んで、同じように鍵盤で音を変化させてみましょう。

## 次のステップへ進みましょう

〔タッチコントロール機能〕

アッパータッチトーンのボタンをONすると、カスタムボイスの音量と音色を上鍵盤のタッチで微妙にコントロールすることができます。強くおさえるほど音量は大きくなり、音色は豊かさと厚みをまします。

● 音量・音色の変化する度合は、それぞれの音色にふさわしいようにプリセットされています。したがって、音色によって変化する度合は異なります。  
また、演奏する音域によっても音量・音色の変化する度合は異なります。

● 下鍵盤では、タッチコントロール機能は働きません。